

平成 29 年度 事業計画書

～一人はみんなのために

みんなは一人のために～

飛躍の年

社会福祉法人 東京リハビリ協会

平成 29 年度事業計画の法人重点項目及び予算について、次の通り報告致します。

平成 29 年度 事業計画書

法人重点項目

重点施策	部門別目標	担当部署
1. 経営基盤の強化	立川・日の出事業所においては、各事業所に対応できる体制を作る 1. 個々人の適量配分を考慮したうえで無駄を省く適材配置を、事業所中心の組織のなかで作上げる。 2. 事業所における、従来の業務内容の見直しによる適正人員配置数の割り出しをする。そのためには各事業所における「業種別適正生産量」の把握をする。 3. 適正人員配置数における正規雇用者必要数と非正規雇用者の比率を検討する。 4. 職員・パート等の個別指導や教育研修計画を作成し実践する。 5. 利用者、パート等の配置変更や新規採用等を行う。 以上の5項目については、第1四半期を一次目標に改善していく事とする。	法人本部 立川・日の出事業所所長
	顧客への日々の出荷をエクセルにて管理し、生産現場とデータを共有化し、出荷ミスの低減を図る。	管理部・生産指導課顧客係
	予算に基づいた就労支援事業収入を必達する。	法人本部 立川・日の出事業所所長 事業振興部
	責任体制を明確にし、費用予算は予算内に収める。	法人本部・管理部 立川・日の出生産指導科
	日々の生産量、生産時間、売上、在庫等を見える化し、週単位・月単位に反映できる体制にする。	立川・日の出生産指導科
	作業システムによる原材料費・燃料費・電力費・水道費の効率化を図る。	立川・日の出生産指導科
	各部門長の許可制による入出庫管理を行い、無駄のない在庫管理を実施する。	立川・日の出事業所所長
	減少するオムツリネン事業の外注化と清拭布の紛失率確認する。	日の出生産指導科
	法人収入に占める事業収入の比率を平成28年度71%から1%引き上げる。	法人本部 立川・日の出事業所所長 事業振興部
	現状の医療用リネンサプライクリーニング、ウエス事業における取引内容を顧客毎に分析し、契約時に販売価格を見直すことにより、利益率の改善を図る。	法人本部・管理部
	設置から18年が経過する日の出事業所のボイラーを更新し、効率アップを図り、燃料費の削減を実施する。	日の出生産指導科
	上下水道・井戸水の日々の管理を徹底し、問題の発生時には迅速に対応する。	日の出生産指導科
周年事業により投資してきた建物、機器類等について、生産の効率化、光熱水削減、清掃、機械のメンテナンス等の徹底により、法人全体で経費を圧縮させる。	法人本部 立川・日の出事業所所長	

2. 役員・職員の人材育成	<p>人材育成化事業として職員すべてに対し、実施し、スキルアップを図る。</p> <p>①歴史から学ぶ研修 ②営業研修事業(クリーニング・観賞魚・あわび・ウエス等) ③他施設視察研修事業 ④同業他社工場視察研修事業 ⑤あわび室内養殖研修事業 ⑥外部研修への参加</p>	<p>経営推進室 立川・日の出事業所所長</p>
3. 利用者の自立生活基盤づくり	<p>個別支援計画に基づく、地域移行への推進(今年度の目標として自立生活者の割合を現状の40%から45%にする)</p> <p>1.個々の生活維持のための所得の確保 2.家族の意見の反映 3.住宅並びに人的支援の確保</p>	<p>サービス管理責任者</p>
	<p>ワークステーション立川、ワークスタディ日の出の就労継続支援B型事業の工賃を改定後最低賃金(932円)の1/2を実現する。</p>	<p>管理部福祉支援課</p>
4. 従事者の安心・安全のためのリスクマネジメントの強化	<p>所長、苦情受付担当者等により、利用者からの苦情に対し円滑に解決を図るべく適宜委員会を開催する。</p>	<p>サービス管理責任者</p>
	<p>無事故で作業を行うために、各々が5Sの意識を高く持ち、常に整理、整頓、清潔、清掃、しつけの徹底を図る。また、ヒヤリハットに関する会議を開催し、対応策等を検討し、改善を図る。職員による安全パトロールを実施し、確認を図る。</p>	<p>立川・日の出生産指導科</p>
	<p>非常時用品を備蓄倉庫に管理し、定期的に内容を確認し、入れ替えを行なう。非常時用品の備蓄については、従事者の3日分を確保する。</p>	<p>サービス管理責任者</p>
	<p>毎月の避難訓練に防災総合訓練も併せて実施する。(年2回 前期・後期)</p>	<p>防火管理者</p>
5. 事業振興部	<p>ホテルリネン事業、観賞魚リース事業、ウエス(リネンリサイクル)事業に1名ずつ営業員を増員する。</p>	<p>経営推進室 事業振興部</p>
	<p>ホテルリネンサプライ事業の売上目標を、昨年度年商1億1,000万円に対し、本年度年商1億7,000万円を目指す。</p>	<p>事業振興部</p>
	<p>ウエスの営業開拓にエコマークの取得、ダイレクトメール等の発送を実施する。</p>	<p>事業振興部</p>
	<p>あわびの室内養殖事業に関しては、障害者・高齢者施設、高級中華料理店、ホテル・旅館に販売オープニングキャンペーンを開始する。</p>	<p>経営推進室 事業振興部 魚貝部</p>
	<p>観賞魚リースにおいては、ダイレクトメールやビックサイト等で開催される展示会、保育3団体(全国私立保育園連盟・全国保育協議会・日本保育協会)へ向けた出展やPR活動を展開する。</p>	<p>経営推進室 事業振興部 魚貝部</p>
	<p>オムツリネン事業収入の減少に関しては、生産の一部外注化に伴う大幅な値上交渉をしていく。</p>	<p>経営推進室 事業振興部</p>

※なお、平成29年度事業計画書は、各事業所多目的室で自由に閲覧ができます。

平成29年度予算

(単位:千円)

平成29年度当初予算	
収入の部	
就労支援事業収入	1,253,600
自立支援費等収入	375,800
その他雑収入	74,830
収入合計	1,704,230
支出の部	
人件費等	638,000
原価関係	621,900
その他一般管理費	305,750
支出合計	1,565,650
事業収支差額	138,580
特別収支の部	
特別収入	4,600
特別支出	0
特別収支差額	4,600
予備費	0
設備整備収支の部	
設備整備収入	0
設備整備支出	117,440
設備整備差額	△ 117,440
当期資金収支差額	25,740